

「生命のがん教育」を実施しました

(令和元年度 2 学期分)

令和元年度 2 学期は 4 2 校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20 分)
- (2) がん経験者のお話 (20 分)

◆授業風景



(木津川市立南加茂台小学校)



(福知山市立六人部中学校)



(京都府立京都八幡高等学校
南キャンパス)

◎小学校 (4 校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
9 月 2 5 日	南丹市立園部小学校分教室	6 年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
1 0 月 1 8 日	木津川市立恭仁小学校	5, 6 年	宇治徳洲会病院 放射線治療科 部長 立入 誠司
1 2 月 6 日	木津川市立南加茂台小学校	5, 6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
1 2 月 1 7 日	亀岡市立畑野小学校	5, 6 年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也

< 児童の感想 >

◇ 私は大きな病気になった事はありません。私はもし病気になったら手術怖いなあとか思っていたけど、話を聞いて、病気になったら、病気以外の事で悲しい事とか苦しい事がたくさんあるんだなあとなりました。

◇ 「がん」になったらどうなるかとか、どんな「がん」があるかが分かりました。

◇ 「がん」はめったにならないような少しめずらしいような病気だと思っていたけど「がん教育」を聞いて身近な病気だと知ったのでびっくりしました。

◎中学校（23校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9月24日	福知山市立六人部中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
9月25日	南丹市立桜が丘中学校	全学年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10月8日	綾部市立八田中学校	全学年	京都府中丹東保健所 所長 常盤 和明
10月9日	京丹後市立久美浜中学校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科 医長 越野 勝博
10月17日	京丹後市立丹後中学校	3年	京都府丹後保健所 所長 山田 明
10月17日	京丹後市立弥栄中学校	3年	京都府丹後保健所 所長 山田 明
10月21日	亀岡市立詳徳中学校	3年	京都民医連中央病院 副院長 川島 市郎
10月25日	木津川市立泉川中学校	3年	宇治徳洲会病院 放射線治療科 部長 立入 誠司
10月29日	木津川市立木津第二中学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
11月8日	舞鶴市立白糸中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
11月8日	舞鶴市立青葉中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
11月12日	福知山市立日新中学校	3年	京都府中丹西保健所 所長 猪飼 宏
11月12日	京丹後市立大宮中学校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 副病院長 沖原 宏治
11月14日	相楽東部広域連合立 笠置中学校	1～3年	京都山城総合医療センター がん診療部長 小池 浩志
11月19日	城陽市立東城陽中学校	3年	京都岡本記念病院 消化器内科部長 河端 秀明
11月20日	宇治市立槇島中学校	3年	京都医療センター がん診療部長 山崎 誠二
11月22日	舞鶴市立加佐中学校	3年	舞鶴医療センター 外科系診療部長 山下 哲郎

11月26日	京都市立太秦中学校	1年	京都桂病院 副院長 国立 裕之
11月27日	福知山市立夜久野中学校	3年	市立福知山市民病院 副診療部長 川上 定男
11月28日	京都市立高野中学校	1年	京都府立医科大学 講師 保田 宏明
12月2日	京都市立西京高等学校 附属中学校	1年	京都民医連中央病院 副院長 川島 市郎
12月5日	京都市立久世中学校	2、3年	医仁会 武田病院 外科 顧問 加藤 仁司
12月12日	京都市立蜂が丘中学校	2年	京都府立医科大学 助教 小菅 敏幸

<生徒の感想>

- ◇ 「がん」に対して、自分とは縁のないものというような思いを持っていましたが、今は2人に1人がなってしまうことにおどろきました。また、発生しても気がつきにくく危険な場合もあると知り、自分の知らないうちに病気が進行していると思うとこわくなりました。
- ◇ 「がん」って言葉を聞いたことはあるけど、実際に「がん」はこんな病気だよと教えられなかったので、くわしく知れたのでよかったです。
- ◇ 命の大切さを知ることができました。今を大切に生きていきたいです。
- ◇ 「がん」にならないように今から注意すべきことを学ぶことができました。「がん」を早期発見できるように健康診断などを大切にしていこうと思いました。
- ◇ いつどんな時に何が起こるか分からないから、今この瞬間を笑顔で楽しみたいと思いました。

◎高等学校（15校）

実施日	実施校	学年	担当講師※
9月20日	京都府立綾部高等学校	1年	綾部市立病院 呼吸器外科 西村 友樹
9月27日	京都府立綾部高等学校 東分校	1年	綾部市立病院 呼吸器外科 西村 友樹
10月2日	京都府立北桑田高等学校	1年	京都市立病院 総合外科 庄野 孝仁

10月11日	京都府立八幡高等学校 南キャンパス	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
10月11日	京都府立八幡高等学校 北キャンパス	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
10月16日	京都府立農芸高等学校	2年	三菱京都病院 院長補佐 吉岡 亮
10月18日	京都府立工業高等学校	3年	市立福知山市民病院 副診療部長 川上 定男
10月23日	京都府立乙訓高等学校	1年	済生会京都府病院 副院長 堀 義幸
10月25日	京都府立綾部高等学校 東分校（夜間定時制）	1～4年	綾部市立病院 呼吸器外科 西村 友樹
10月30日	京都府立朱雀高等学校	3年	京都大学医学部附属病院 産婦人科 濱西 潤三
11月8日	京都府立峰山高等学校 弥栄分校	3年	京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科 医長 堅田 和弘
11月19日	京都市立伏見工業高等学校	1年	京都大学医学部附属病院 放射線治療科 吉村 通央
11月29日	京都府立大江高等学校	3年	市立福知山市民病院 副診療部長 川上 定男
12月18日	京都府立北桑田高等学校 美山分校	全学年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
12月18日	京都府立盲学校	全学年	京都府健康福祉部健康対策課 副主査 西田 恵理子

<生徒の感想>

- ◇ もし自分が「がん」になったらという事も考えましたが、それよりも自分の身近な人が「がん」になったときに、その人をどう支えることができるのかを考えて実行する大切さを学びました。
- ◇ 日本の食生活などが欧米化してきた原因もあるという事なので、ほどよいバランスにあう食生活にしたいなと思いました。
- ◇ 「がん」についてのお話を聞いた後に、「がん」になった方の体験談を聞いた時、心苦しく感じました。早期発見の大切さ、病院で検査を受けることの重要さを改めて感じる事ができました。そして、笑顔で生きておられる事に感動しました。私も持病を持ち、通院などしていますが、悔いがないような人生を送りたいです。

◇ 日本の食生活などが欧米化してきた原因もあるという事なので、ほどよいバランスにあう食生活にした
いなと思いました。

◇ 「がん」は小学生の時から授業などで勉強していたけど、その時はまだ、「がん」のことが分からな
かったけど、今日話を聞いて理解ができました。

「がん」のことが少しでも多く覚えられたので、良かったです。

◇ 今自覚がなくても、実は体の中にはガン細胞があるかもしれないので、今から健康しんだんをするわけ
ではないですが、大人になってからこまめにしんだんをしようと思いました。そのためには、タバコは
禁煙をし、酒はほどほどにしようと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp